



ニュース1

奥能登国際芸術祭2020 開催決定
会期:2020年9月5日-10月25日 51日間

奥能登国際芸術祭実行委員会は、石川県珠洲市を舞台に第2回目となる「奥能登国際芸術祭 2020」を開催いたします。

連日のように「祭り」が行われ、奥能登が一年でもっとも活気づく秋に開催される「奥能登国際芸術祭 2020」は、最先端の美術と地域の伝統が響きあう美術の祭典です。

このたび、第1弾となる参加アーティストが決定しましたので、お知らせします。

【開催概要】

会期：2020年9月5日(土)～10月25日(日) 51日間

会場：石川県珠洲市全域

アート作品・プロジェクト数：約40点(予定)

主催：奥能登国際芸術祭実行委員会

実行委員長：泉谷満寿裕(珠洲市長)

総合ディレクター：北川フラム(アートディレクター)

ご取材・広報についてのお問い合わせ

奥能登国際芸術祭実行委員会事務局(珠洲市奥能登国際芸術祭推進室内)

〒927-1214 石川県珠洲市飯田町13部120番地1

TEL:0768-82-7720 FAX:0768-82-7727 E-mail:press@oku-noto.jp 公式WEBサイト:oku-noto.jp

Facebook <https://www.facebook.com/okunotojp>

Twitter <https://twitter.com/okunotojp>

instagram <https://www.instagram.com/okunotojp>

2019年8月9日(金)

WEBリニューアル

オープン



開催によせて

能登半島の先端に位置する珠洲は、地理的特質により古くから大陸や日本各地から文物がもたらされ、豊かな里山里海を形成してきました。20世紀以降、都市化の波に取り残され、「さいはて」の地となってきましたが、それゆえに「忘れられた日本」とも言うべき原風景と文化が至るところに残っています。

第1回の「奥能登国際芸術祭 2017」は、まちの再起をかけて4年の準備を経て開催され、7万人以上の来場者にお越しいただきました。

2020年秋、いよいよ第2回目の芸術祭が開催されます。

地域の伝統と響きあう最先端の美術。芸術祭はさらなる進化をめざし、第一線のアーティストとともに奥能登珠洲に眠るポテンシャルをアート力で掘り起こし、日本の“さいはて”から“最先端”の美術を創造します。「さいはての芸術祭」にご期待ください。



ニュース2

第1弾参加アーティスト決定(2019年7月31日時点)

第一線のアーティストが珠洲を訪れ、日本のさいはてから最先端の美術を創造します。

現在、世界7ヶ国から作家11名の参加が決定しました。開催までに約40組の参加作家を発表する予定です。

青木野枝(日本)、大岩オスカル(ブラジル)、カールステン・ニコライ(ドイツ)、金氏徹平(日本)、カルロス・アマラレス(メキシコ)、キムスージャ(韓国)、サイモン・スターリング(イギリス)、さわひらき(日本/イギリス)、スボード・グプタ(インド)、原広司(日本)、ひびのこづえ(日本)

ニュース3

奥能登国際芸術祭 2020 作品公募スタート

「奥能登国際芸術祭 2020」の開催に向けて、珠洲の自然・歴史・文化・風土・景観などを活かしたアート作品およびプロジェクトを募集します。

若手作家などにも広く門戸を開き、アートの力で珠洲の潜在力を掘り起こす作品を求めます。

<募集概要>

応募受付期間：2019年10月17日(木)～10月31日(木) 必着

申し込み：1プランにつき1,000円(1組3プランまで)

選考：10点程度の採用を予定

結果発表：2019年12月頃に公式WEBサイト(oku-noto.jp)に掲載予定

<現地見学会>

作品公募を予定されている方を対象に、作品・プロジェクト展開候補地をめぐる見学会を開催します。

日程：2019年9月14日(土) *事前申込み必要

ニュース4

2019年度イベント情報

第1回の奥能登国際芸術祭 2017 作品会場でイベントを開催します。地域に根付いたアート作品が鑑賞できます。

◇ひびのこづえ×スズズカ 2019 秋

日程：2019年10月12日(土)～10月14日(月・祝)

会場：スズズカ(旧飯塚保育所)

◇さわひらき×映像制作ワークショップ・上映会(仮)

日程：2019年10月14日(月・祝) 映像制作ワークショップ

*地元高等学校生徒対象

2019年10月19日(土)～10月20日(日) 上映会

会場：旧日置公民館

◇さいはてのジャズライブ(仮)(ジャズ・ピアニスト 山下洋輔)

日程：2019年11月10日(日)

会場：さいはてのキャバレー



第1弾参加アーティストプロフィール (2019年7月31日時点)

2019年7月末現在、世界7ヶ国から作家11名の参加が決定しています。
奥能登国際芸術祭2020開催までに、約40組の参加作家を発表する予定です。



青木野枝(日本)

1958年生まれ。東京都出身。多摩美術大学客員教授。従来の彫刻の概念を超えた、新しい自らのスタイルを構築し、現代日本を代表する彫刻家としての地位を確立した。



大岩オスカル(ブラジル)

物語性と社会風刺に満ちた世界観を、力強くキャンバスに表現する油絵画家。独特のユーモアと想像力で、サンパウロ、東京、ニューヨークと居を移しながら制作を続けている。



カールステン・ニコライ(ドイツ)

1965年生まれ。ベルリンを拠点に活動。科学的な根拠にインスパイアを受けながら、グリッドやコード、エラーやランダム構造といった数学的なパターンや自己組織化現象について探求する。



金氏徹平(日本)

1978年京都府生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。プラスチック製品や雑誌の切り抜き、おもちゃなど身の回りの物を収集し、カラージュエリーの手法で作品を制作。



カルロス・アマラレス(メキシコ)

1970年メキシコシティ生まれ。サブカルチャー、伝統工芸、ポピュラーカルチャーを組み合わせた画像編集によるコンセプチュアルアートに取り組む。



キムスージャ(韓国)

1957年大邱(テグ)生まれ。音や光、その文化特有の素材を用いながら、パフォーマンスや映像、写真、インスタレーション等多様なメディアで、様々な文化が複雑に重なり合い共存する社会を表現している。



サイモン・スターリング(イギリス)

1967年にサリー州エブズム生まれ。2005年英国で最も活躍する現代美術家に贈られるターナー賞を受賞。綿密な調査をもとに秘められた歴史やエピソードを見つけ出し、膨大なプロセスを内在させた作品に取り組む。



さわひらき(日本/イギリス)

1977年石川県生まれ。ロンドン大学スレード校美術学部彫刻家修士課程修了。心象風景や記憶の中にある感覚といった実体のない領域を、映像・立体・平面作品などで構成されたビデオインスタレーションで表現する。



スボード・グプタ(インド)

1964年インドビハール州カガウルに生まれ。大量生産されたステンレスの道具など、日常的な道具から、移動やグローバリゼーションそして宇宙といった共通の課題を反映させた作品制作を行う。



原広司(日本)

1936年神奈川県生まれ。建築家、東京大学名誉教授。世界の多様な集落の空間形態を調査し、独自の建築理論を展開。2013年に日本建築学会大賞を受賞。



ひびのこづえ(日本)

静岡県生まれ。東京芸術大学美術学部デザイン科卒業。コスチューム・アーティストとして広告、演劇、ダンス、バレエ、映画、テレビなどその発表の場は、多岐にわたる。

※写真は過去の作品です。

2019 年度イベントについて

第1回展でできた作品、施設を文化・芸術による地域づくりの拠点として活かし、芸術祭の会期以外にも、さまざまなワークショップ、イベントを予定しています。

<ひびのこづえ×スズズカ 2019 秋>

作家ひびのこづえが衣装を担当するダンスパフォーマンスや、ワークショップ、スズズカ食堂が開催されます。当日は、ひびのこづえのオリジナルグッズも販売される予定です。

会場：スズズカ(旧飯塚保育所) 石川県珠洲市正院町飯塚は 57

◇パフォーマンス公演



WONDER WATER

サーカスや大道芸、ダンスで活躍する2人が、幻想的な水中の世界を生き生きと描き出します。

日時：10月12日(土) 16:30 - 17:10、10月13日(日) 11:00 - 11:40

出演：ホワイトアスパラガス (谷口界、ハチロウ)



Piece to Peace

余分な装飾を必要としない彼らの身体性と表現力に、あえて不自由さを与えるような衣装と音楽により、新たな世界が作り出されていきます。

日時：10月13日(日) 14:00 - 14:40、10月14日(月・祝) 11:00 - 11:40

出演：酒井かな、島地保武

チケット情報 (8月下旬販売予定)

前売券：一般1,000円、小中高生500円

当日券：一般1,500円、小中高生500円

イープラス(<http://eplus>)、道の駅すずなり、ラポルトすず、実行委員会事務局で販売します。

*当日券は、会場にて開演の30分前より販売予定。未就学児は膝の上なら無料。

◇ワークショップ



ちいさな生きものブローチ作りワークショップ

作家ひびのこづえと一緒に、きれいな生地や衣装の断片を使ってブローチを作ります。

日時：10月12日(土) 10:00 - 12:00、13:30 - 15:30

対象：5歳から大人まで(小学生以下は保護者も一緒に参加)

参加費：1,000円

◇スズズカ食堂



米どころ飯塚の米、珠洲の塩、地元で採れた野菜など珠洲の食材をふんだんに使い、地元のお母さんが愛情を込めて作ったお食事をお楽しみいただけます。

営業日：10月13日(日) - 14日(月・祝) 12:00 - 13:30

*売り切れ次第終了

<さわひらき×映像制作ワークショップ・上映会(仮)>

作家さわひらきが、映像作品の理解を深めるため、地元飯田高校の生徒を対象に映像制作ワークショップを開催します。その成果とともに国際的に活躍するアーティストらの映像作品を上映します。

会場：旧日置公民館 石川県珠洲市折戸町34



◇映像制作ワークショップ

日時：10月14日(月・祝)

*地元高等学校生徒対象

◇上映会

日時：10月19日(土) - 20日(日)

<さいはてのジャズライブ(仮)>

ジャズ・ピアニスト山下洋輔が奏でるピアノの音色に包まれる、キャバレーイベントを開催します。

会場：さいはてのキャバレー 石川県珠洲市飯田町1-1-13



日時：11月10日(日)